

資質向上研修委員会 研修部門活動計画					
会議年月日	R4 年 6 月 28 日	時間	12:00 ~ 13:00	場所	おおたき
出席者	■渡邊 ■川窪 ■新井 ■村上 ■綿内(ハシバテクノス株式会社) ■渡邊(エスケー化研株式会社) ■中村(株式会社信濃レジン) ■浜(炭平コーポレーション株式会社) ■林(株式会社仙嶺) ■芝山(株式会社日建エンジニアリング) ■堀川(株式会社ニュースト) ■藤崎(富国物産株式会社) ■大井(三井化学産資株式会社) ■入倉(YKK AP株式会社) ■横川(鍋林建工株式会社・代理:小口氏)				計15名
議 題					
1次第					
①令和4年度委員会編成変更の件					
②自己紹介					
③令和4年度資質向上研修委員会 研修部門活動計画について					
④その他					
2.議事					
①令和4年度委員会編成変更の件					
資質向上委員会と技術交流委員会が統合され、資質向上研修委員会が発足した旨を口頭説明。					
資質向上研修委員会内の部門説明並びに本部門についての説明。					
(構成については事前配布済みの次第に記載)					
②自己紹介					
③令和4年度資質向上研修委員会 研修部門活動計画について					
実施予定活動の活動は以下の1点					
a.材料説明会					
年2回開催					
1回目 9月9日(金) アルウィン会議室					
2回目 2月上旬(予定)					
【多数の方に参加いただくことができる説明会にするには、委員会内にて意見聴取】					
参考資料:【1】材料説明会過去実績(H30-R3)【2】資質向上セミナーアンケート					
・令和2年度はコロナにより開催が少なかったため、協賛企業が多数集まった印象だが、					
企業数が多いと内容が薄くなると感じる。4~5社程度に絞った方が良い。					
・材料説明会を聴く側と出展する側のニーズがマッチする内容をできたら参加者が集まるのでは。					

- ・全国的にはリモート開催も増えている。参加しやすいようにリモート開催を検討しては。
- ・材料説明会の様子をYouTubeで見ることができると参加できなくてもより情報が広まると考える。
- ・出展の目玉を用意しても良いと考える。事前に「こういうものを出展します。」と告知しやすい。
- ・材料説明会についての発信の仕方やプレゼンの仕方も検討する必要がある。
- ・説明会に出席しなかった方へのアンケートを取ってみても良いのではないかと。
- ・出展側としては、どんな内容を参加対象者が聞きたいと思っているのか知りたい。
- ・過去の実績を見ると業種がバラバラで何を見に来るか決め辛い、テーマを明確に決めても良いのでは。
- ・サッシ・ウッド等テーマを決める事前告知としてはキャッチだと感じる。比較対比は面白いと思う。

■上記委員会の意見を踏まえ、令和4年度は以下の計画を実施する。

・材料説明会は開催テーマを明確にして開催。

第1回目のテーマは令和3年度資質向上セミナーのアンケート結果に基づきテーマを決定。

■テーマ:脱炭素化の動きに対して、設計者が持っておきたい知識や商材技術・サービスの説明

第2回目のテーマはアンケート結果並びに賛助会員の企業商材を踏まえて決定。

【参考】R3. 資質向上セミナーアンケート

質問③	今後希望するテーマや内容をお聞かせください（複数可）	・木材の種類や特性に関するセミナー	17
		・省エネ法、省エネ商品関係のセミナー	12
		・耐震、制震に関するセミナー	3
		・木造ラーメン等木構法に関するセミナー	3
		・リフォーム、リノベーションに関するセミナー	8
		・換気、動線分離、感染対策等のセミナー	4
		・バリアフリーのセミナー	3
		・建築コストに関するセミナー	8
		・その他	0
		質問④	具体的に希望するテーマや内容をお聞かせください（ご意見、感想でも結構です）
17.ZEB、ZEHについて聞きたい。事例、検証法、認証手続きについて。			
26. 省エネやCO2排出等、これからどうなるのか不安。			
信州の住宅のあり方を知りたい。			

・アンケートの実施

参加者アンケート（会場実施）

不参加者アンケート（メール・FAX等により実施）